

夏といえは、もちろん夏休み！そして夏祭りですね。盆踊りの練習やみたらし団子売りの準備もしなきゃいけないけれど、やっぱり弥富っ子なら金魚すくいにはマスターしましよ。う。

金魚すくいのコツは、やはり手首の動きにあるようです。スナップをきかせて水平方向にポイントとまあ簡単に書いていますが、ともかく、日本最強を誇る弥富の金魚相手に練習すれば、上達まちがいなし！

ところでこの手首の動き、遺跡の発掘調査でも重要なんですよ。発掘調査では、「手ガリ」という両刃の草刈り鎌を使って遺構検出をしています。地面をガリガリ削るから「手ガリ」を決して氷菓子ではありません。その「手ガリ」を使う時も微妙に手首のスナップをかけることで、遺構面をなただけ平らにそして削りかすが残らないように仕上げるができます。皆さんに紹介している遺跡の写真も、「手ガリ」のワザで遺構面を見やすく仕上げた結果です。どうです？土の色や混じっている石の違いまで見えてきませんか？

幻の駅が見つかる！

東海市 松崎遺跡 上浜田遺跡

埋文金魚ニュース

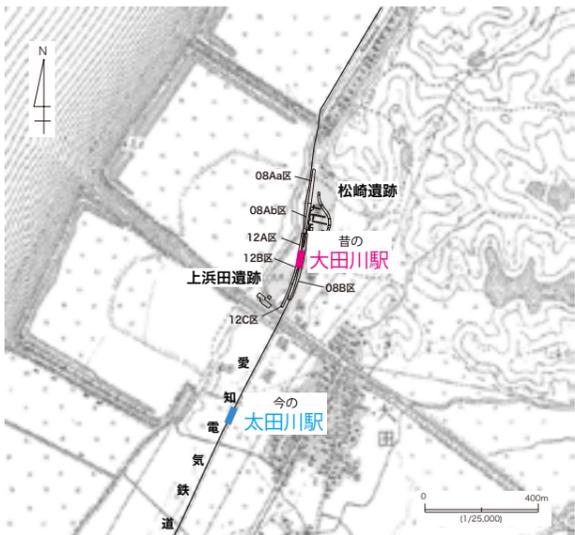
発行日：2014年7月23日
発行所：公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017
愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24
電話：0567-67-4163
ファックス：0567-67-3054
ホームページ：http://www.maibun.com/
メールアドレス：doki@mailun.com

この夏は **考古ラボ** で自由研究!!
夏休み子供講座 開設予定

秋の **歴史講座** 4回講座開催!
食と器
縄文・弥生・古代・中世・近世の各時代の「食と器」についての4人の講師が解説

2014考古学の祭典 **考古学セミナー**
名古屋市博物館にて開催!
2014年11月29日(土) 30日(日)



▲『大田川』の駅場所 (大正13年の地形図に加筆)



▲ニョキニョキ生えてるのはナニ？



▲石の詰まった横長の坑の列は、ナンダ？

夏といえは。。。。

夏といえは、もちろん夏休み！そして夏祭りですね。盆踊りの練習やみたらし団子売りの準備もしなきゃいけないけれど、やっぱり弥富っ子なら金魚すくいはマスターしましよ。う。



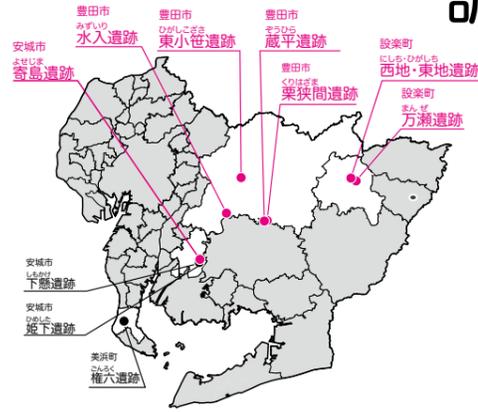
平成26年度 イベント案内

7	23 (水)	夏休み子ども講座『考古ラボ』 歴史と理科のコラボレーション！今年の自由研究は「考古ラボ」で決まり！ 最新の考古学を科学する“体験型講座”です。 申込必要 参加無料 ●8月9日(土) 第1回：「 むかしの食物をさぐる 」講師：川添和暁 (センター研究員) ●8月16日(土) 第2回：「 むかしの環境をさぐる 」講師：鬼頭 剛 (センター研究員) ●弥生時代の人たちはどんな風景の中にいたのか!? 目に見えないモノを探そう! 時間：いずれも午前10時から午前11時30分 対象：小学校4年生以上 (中・高生もOK!) 定員：各回先着20名程度
8	6 (水) 9 (土) 16 (土) 20 (水) 29 (金)	夏休み特別公開 夏休みの期間中、バックヤードツアー (隔週水曜開催) や子供講座を開催。 ●毎日体験コーナー 予約不要・参加無料 期間中いつでも ペーパークラフトや投稿掲示板、お面作りなど 週替わりでいつでもお楽しみください。 ●バックヤードツアー 予約不要・参加無料 7月23日、8月6日、8月20日 午前10時に2階受付までお集まり下さい。 ●音声ガイドQRコード設置！ インターネットにつながる端末をお持ちください。 展示遺跡の調査時の風景が音声ガイドとともに、ご覧頂けます。週末の貸出もあります。 <small>*QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。</small>
9		
10	18 (土) 11 (土) 25 (土)	家族の絆作り事業『 家族で歴史を体験発掘! 』要予約 遺跡の発掘体験を通じて、家族の絆を深めましょう！ 詳しくはHPをご覧ください 歴史講座『 食と器 』予約不要・参加費無料 ●縄文・弥生・古代・中世・近世の各時代の「食と器」について、4人の研究員が解説します。 ●会場：埋蔵文化財調査センター2階 研修室 ●時間：午前10時～12時
11	8 (土) 22 (土) 29 (土) 30 (日)	○第1回：10月11日(土)：「お米を食べ始めた頃」 永井宏幸 (センター研究員) ○第2回：10月25日(土)：「尾張国府と奈良・平安時代の食器」 永井邦仁 (センター研究員) ○第3回：11月 8日(土)：「中世調理具事情-『播鉢』と・・・」 武部真木 (センター研究員) ○第4回：11月22日(土)：「江戸時代のセブな食塩」 松田 潤 (センター研究員) 2014年度考古学セミナー『 あいちの考古学2014 』 予約不要・聴講無料 愛知県内と近隣の情報を手に入れることができるビックイベント! 会場：名古屋市博物館 *公共交通機関でお越し下さい。
12	1 2 3	



調査現場を訪ねて

現在、県内の6カ所の遺跡で発掘調査が行われています。豊田市水入遺跡は、5月末日に調査が終了しました。今回は、主な遺跡の調査成果速報をお知らせします。



▲豊田東インター料金所の隣にあった調査区

豊田市 水入遺跡
東名高速道路豊田東インターの料金所のすぐ隣を調査しました。とつても狭い調査区でしたが、中世の山茶碗や、古代の竪穴建物跡等が見つかりました。また、これらの中世の遺構が、江戸時代から現代にかけての砂の層に覆われていることが、確認されました。



▲焼失建物跡

安城市 寄島遺跡
鹿乗川の河川改良工事に伴う発掘調査です。現在は、寄島遺跡の調査を行っています。この遺跡からは、古墳時代の土器や竪穴建物跡がたくさん見つかっています。炭のかたまりや、炭になった木材などがたくさん見つかる建物跡がありました。これは「焼失建物跡」といいます。

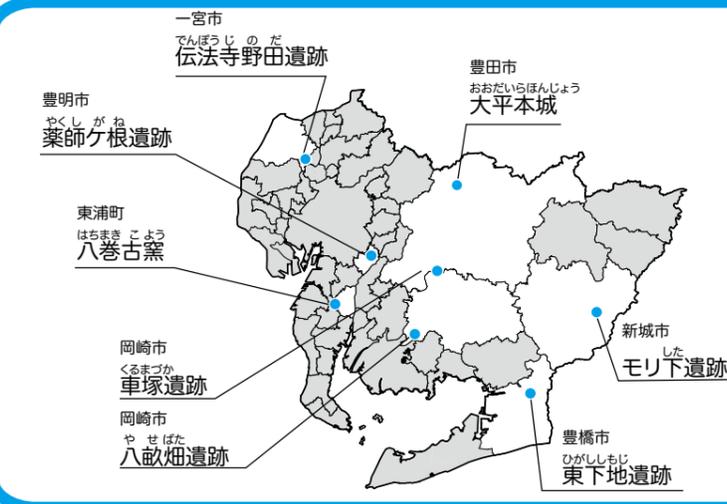


▲調査風景



▲平安時代のカマド

豊田市 蔵平遺跡
豊田市の下山地区で発掘調査が続けられています。蔵平遺跡では、底部の裏側に、「本」という墨書のある灰釉陶器が見つかっています。また、平安時代の石組みのカマドもみつかっています。



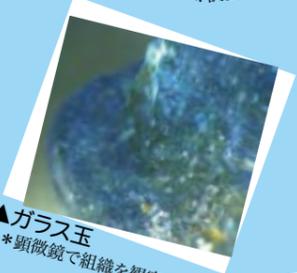
報告書をつくる！

ここ愛知県埋蔵文化財センターでは、発掘調査が終了した後に、土器等の接合・復元をし、より詳細な観察を行います。また図面や写真類の整理を行い、その遺跡が語りかけてきたものを、皆さんにお伝えする作業を行っています。さて今年は、8つの遺跡の整理作業が進められています。それぞれのお仕事の様子を見ていきましょう！

報告書をつくるために、色々なことをやります。



▲写真の整理
*調査時の写真を整理



▲ガラス玉
*顕微鏡で組織を観察



▲木製品の樹種同定
*どんな種類の木なんですよ？



▲遺物の接合作業



▲注記作業
*どこから出てきたのかを書き込んでおきます。



▲八畝畑遺跡の暗文土師器

岡崎市 八畝畑遺跡
これは土師器の杯の内面です。いく筋もの線が放射状にみえます。ヘラでつけられたもので、暗文と呼ばれる飛鳥・奈良時代に、近畿地方でよく見られる調整方法です。なぜ愛知県の岡崎市でみつかるとの理由が？



▲薬師ヶ根遺跡の鉄滓

豊明市 薬師ヶ根遺跡
不思議な形をしています。これは鉄が炉などの中で自然に固まったもので、鉄滓と呼ばれる。鉄滓が出土するということは、近くに鉄製品を作ったり、加工した場所があったと考えられます。鍛冶屋さんがいたのかな？



▲東下地遺跡の接合作業

豊橋市 東下地遺跡
遺物の接合作業中です。中世の山茶碗、小皿、土師器皿などを種類ごとに分類します。そして同じ個体を探して接合していきます。必ず全部がそろっているわけではないので、とっても難しいです。